

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】令和 3 年 10 月 7 日 (2021.10.7)

【公開番号】特開 2020-77378 (P2020-77378A)

【公開日】令和 2 年 5 月 21 日 (2020.5.21)

【年通号数】公開・登録公報 2020-020

【出願番号】特願 2019-167309 (P2019-167309)

【国際特許分類】

G 0 8 G 1/09 (2006.01)

G 0 8 G 1/16 (2006.01)

【F I】

G 0 8 G 1/09 H

G 0 8 G 1/16 A

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 8 月 24 日 (2021.8.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

V 2 X (Vehicle-to-Everything) 通信に基づいて車両コンポーネントの動作を修正する方法であって、

V 2 X レシーバによって、環境内の V 2 X トランスミッタのコンテキストを記述するコンテキストデータを含む V 2 X メッセージを受信するステップであって、前記 V 2 X レシーバは、前記環境内で前記 V 2 X メッセージの発信元として前記 V 2 X トランスミッタを十分に識別することができないステップと、

前記 V 2 X レシーバによって、前記コンテキストデータに基づいて、前記環境内における前記 V 2 X メッセージの前記発信元としての前記 V 2 X トランスミッタの素性を記述するデジタルデータを判断するステップと、

前記 V 2 X トランスミッタの前記素性を記述する前記デジタルデータに基づいて、前記 V 2 X レシーバの前記車両コンポーネントの前記動作を修正するステップと、

を含む、方法。

【請求項 2】

前記環境は、自車両と、前記 V 2 X メッセージを受信するリモート車両を含む道路環境であり、

前記コンテキストデータは、前記道路環境における前記自車両のコンテキストをさらに記述するものである、

請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記 V 2 X メッセージが、Wi-Fi メッセージ、3G メッセージ、4G メッセージ、5G メッセージ、ロングタームエボリューション (LTE) メッセージ、ミリ波通信メッセージ、Bluetooth メッセージ、および衛星通信のうちの 1 つではない、

請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記 V 2 X メッセージが、Basic Safety Message (基本安全メッセージ) である、

請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記コンテキストデータが、前記 V 2 X トランスミッタが走行している道路の幅の実質的に半分の精度で前記 V 2 X トランスミッタの位置を記述する、

請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記 V 2 X トランスミッタが自車両である、

請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記 V 2 X レシーバが自律走行車両である、

請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

V 2 X レシーバに含まれ、V 2 X 通信に基づいて車両コンポーネントの動作を修正するシステムであって、

プロセッサと、

前記プロセッサと通信可能に結合された非一時的メモリであって、前記プロセッサによって実行された場合に、前記プロセッサに、

環境内の V 2 X トランスミッタのコンテキストを記述するコンテキストデータを含む V 2 X メッセージを受信するステップであって、前記 V 2 X レシーバは、前記環境内で前記 V 2 X メッセージの発信元として前記 V 2 X トランスミッタを十分に識別することができないステップと、

前記コンテキストデータに基づいて、前記環境内における前記 V 2 X メッセージの前記発信元としての前記 V 2 X トランスミッタの素性を記述するデジタルデータを判断するステップと、

前記 V 2 X トランスミッタの前記素性を記述する前記デジタルデータに基づいて、前記 V 2 X レシーバの前記車両コンポーネントの前記動作を修正するステップと、

を実行させるように動作可能なコンピュータコードを記憶する、非一時的メモリと、を備える、システム。

【請求項 9】

前記 V 2 X メッセージが、Wi-Fi メッセージ、3G メッセージ、4G メッセージ、5G メッセージ、ロングタームエボリューション (LTE) メッセージ、ミリ波通信メッセージ、Bluetooth メッセージ、および衛星通信のうちの 1 つではない、

請求項 8 に記載のシステム。

【請求項 10】

前記 V 2 X メッセージが、Basic Safety Message (基本安全メッセージ) である、

請求項 8 に記載のシステム。

【請求項 11】

前記コンテキストデータが、前記 V 2 X トランスミッタが走行している道路の幅の実質的に半分の精度で前記 V 2 X トランスミッタの位置を記述する、

請求項 8 に記載のシステム。

【請求項 12】

前記 V 2 X トランスミッタが自車両である、

請求項 8 に記載のシステム。

【請求項 13】

前記 V 2 X レシーバが自律走行車両である、

請求項 8 に記載のシステム。

【請求項 14】

V 2 X 通信に基づいて車両コンポーネントの動作を修正するように動作可能なプログラムであって、V 2 X レシーバのプロセッサによって実行された場合に、前記プロセッサに、

環境内の V 2 X トランスミッタのコンテキストを記述するコンテキストデータを含む V

2 Xメッセージを受信するステップであって、前記V 2 Xレシーバは、前記環境内で前記V 2 Xメッセージの発信元として前記V 2 Xトランスミッタを十分に識別することができないステップと、

前記コンテキストデータに基づいて、前記環境内における前記V 2 Xメッセージの前記発信元としての前記V 2 Xトランスミッタの素性を記述するデジタルデータを判断するステップと、

前記V 2 Xトランスミッタの前記素性を記述する前記デジタルデータに基づいて、前記V 2 Xレシーバの前記車両コンポーネントの前記動作を修正するステップと、

を含む動作を実行させる、プログラム。

【請求項 1 5】

前記コンテキストデータが、前記V 2 Xトランスミッタが走行している道路の幅の実質的に半分の精度で前記V 2 Xトランスミッタの位置を記述する、

請求項 1 4 に記載のプログラム。